



USA-JAPAN INTERNATIONAL HIGH SCHOOL BASEBALL GAMES 2015

[www.jerc.org](http://www.jerc.org)



## 2015年『日米親善高校野球大会』開催のお知らせ

石川県高等学校野球連盟 選抜 Team JAPAN 対 Team USA.

日時：2015年12月26日(土)～12月28日(月)

球場：East Los Angeles College

1301 Avenida Cesar Chavez, Monterey Park, CA 91754

Phone: (323) 265-8650

入場料：12歳以下は無料 / 入場券 \$ 10

<ゲーム・スケジュール>

12月26日(土) 11:00 am より オープニング・セレモニー

12:00 pm より 第1試合(9 innings)

12月27日(日) 11:00 am より 第2試合(7 innings)

2:00 pm より 第3試合(7 innings)

12月28日(月) 2:00 pm より 第4試合(9 innings)



今年は、石川県高等学校野球連盟より選抜の高校球児による日本チームが、米国チームと対戦するため、当地ロサンゼルスを訪れます。今回は、モンレーパークにあります East Los Angeles College の球場にて、3日間にわたり親善試合を行います。皆様の暖かいご声援をお願いいたします。



鍛えぬかれた選手諸君のプレーにご期待ください！！

【チケットのお求め、詳細は大会事務局まで。当日、球場入り口でもお求めいただけます。】

大会事務局：23545 Crenshaw Blvd. Suite 102, Torrance, CA 90505

Phone: (310) 373-4888 又は (310) 502-3603

e-mail: [office@jerc.org](mailto:office@jerc.org)

Sponsored by: JERC 日米教育サポートセンター

# 特別講演会

## 『バイリンガルを育てる教育方法』

～バイリンガルになりたい人 なりたくない人 できない人～  
アメリカ言語教育事情と多言語習得の可能性

日時：2016年1月25日（月）午前10時～正午

講師：UCLA アジア言語文化部 林 あさ子氏（教育学博士）  
日本語科講師 言語プログラムスペシャリスト

会場：Toyota U.S.A. Automobile Museum  
19600 Van Ness Ave., Torrance, CA 90501

参加費：\$5（JERC 会員、JBA 会員は無料）

主催：JERC 日米教育サポートセンター



日本は近年の国際化に伴い、「早期英語教育」の是非が活発に議論されるようになり、早期二言語教育（バイリンガル教育）の可能性も論じられるようになりました。英語圏に住む日本人の子どもは自然に日本語と英語のバイリンガルになると信じられているようですが、果たして二つの言語は自然に習得されていくものなのでしょうか。感心の高い”バイリンガル”について、UCLA アジア言語文化部 日本語科講師で日英バイリンガルの研究をされている林 あさ子先生に、バイリンガルを育成するためには、子どもをどのように教育したらよいのかお話しいただきます。

- \* バイリンガルとは？
- \* 日・英のバイリンガルの特性
- \* 第二言語の導入時期と習得方法
- \* アメリカの言語教育事情（過去20年を振り返って）
- \* 多角的な言語教育の重要性
- \* 日本人は英語を習得しにくい？

<お申込先>

- 1、JERC 事務局：Phone: (310)373-4888 or (310)502-3603 E-mail: office@jerc.org
- 2、JBA 事務局：1.参加者名、2.携帯番号、3.会社名（JBA 会員は参加費が無料になります。）  
を明記の上、E-mail([mori@jba.org](mailto:mori@jba.org))にてお申込みください

JERC 事務局：23545 Crenshaw Blvd., Suite 102, Torrance, CA 90505

**Phone: (310)373-4888 or (310)502-3603 E-mail: office@jerc.org**

協賛：南カリフォルニア日系企業協会（JBA）

## 2016年度 新規企業会員のご紹介



### 【FIA Insurance Services Inc.】

FIA Insurance Services Inc.は、終戦直後の1946年に、ロスアンゼルス郡パサデナ市に設立された永い歴史と経験のある日系最大の保険ブローカーです。今日ではカリフォルニア州を中心に、全米のみならず環太平洋の国々の企業および個人保険のニーズに対応したリスクマネジメントと各種保険に関する総合的なサービスを提供しています。

保険種目は、企業保険、健康保険・企業年金、個人保険などあらゆる分野の保険商品を取り扱っており、長年日本および米国の保険事情を熟知したスタッフが、親身でプロフェッショナルサービスを提供しています。また、当社のモットーはチームワークを重視することであり、これは最終的にはお客様の利益につながるという理念の下で長年お客様の期待に応えてきました。

JERCの活動と目的は日系社会を側面から貢献するというものであり、当社の企業理念と合致することから、今回、会員の一端に加えていただきました。今後とも、是非よろしく願いいたします。

本年度も当団体は、会員皆さまよりの絶大なるご支援を賜りまして、積極的に教育的活動を展開することができました。設立以来、教育オリエンテーション、教育相談、教育情報満載のニュースレターの発行、そして改訂版教育ハンドブックも多くの皆さまにご利用いただいております。そして長年、皆さまよりの絶大なるご理解とご協力は、次世代を担う青少年の育成に着実に喜ばしい結果を出しております。どこの学校区に於きましても、日本人子女は快く迎えられ大きく育てられております。

3月1日には、当団体設立20周年を記念いたしまして、日本より独立総合研究所社長 青山繁晴氏をお迎えし「青山繁晴講演会」を開催いたしました。前代未聞！6時間20分に及ぶ講演時間に、ご参加いただいた約300名の皆さまには、大いにご満足いただけた講演会となりました。

また、お楽しみいただいております『日米親善ジュニア野球大会』は、今年度も8月22日と23日の2日間、MLB Urban Youth Academy Baseball Field に於きまして開催いたしました。当団体とMLB傘下Urban Youth Academyは、活発な親善試合が行なえるよう『USA-JAPAN International Baseball Foundation』を設立し、高校野球大会、ジュニア野球大会を実施しております。12月には、石川県高校野球連盟より選出された高校球児が、Team USAとの親善試合を行うためLAに参ります。選手諸君の野球を通しての日米親善に、多くの皆さまよりのご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 国語専科 / 日本語教室

### 生徒募集

幼児教育  
幼稚園・小学校受験、家庭教師  
小学生・中学生クラス



お問合せ、お申込みは下記まで。

**Tel: (310) 502-3603**

**E-mail: rmiwanaga@gmail.com**



西大和学園カリフォルニア校  
西大和学園補習校

2458 Lomita Blvd. Lomita, CA 90717

Tel: 310-325-7040 / Fax: 310-325-7621

Homepage: [www.nacus.org](http://www.nacus.org)

Email: [mail@nacus.org](mailto:mail@nacus.org)

## 『英語教育』と『日本のグローバル化』について思う。

『群馬こども英語教育研究会』  
鎌塚俊徳

過去約 15 年間に渡り米国ロサンゼルスで JERC 理事を勤めさせて頂きましたが、2014 年末に故郷の群馬県に戻り、国際教育コンサルタントとして、また群馬こども英語教育研究会会員として活動しています。

今日は帰国後一年間で気付いた『英語教育』と『日本のグローバル化』関連性について記したいと思います。まず皆さんは『群馬県』と聞き、どんな景色を思い浮かべるでしょうか？緑濃い連山と温泉、そして広大な関東平野ののどかな田園風景と言った所でしょうか？確かに私が故郷を離れる約 30 年前はそうだったかと覚えています。今では随分と環境も変わったようです。

まずは『英語教育の低年齢化』。人口約 200 万人の群馬県には約 630 ほどの幼稚園/保育園があり、前橋市や高崎市、伊勢崎市などの都市部約 200 園の 7 割以上の施設で英語教育を実践しており、その他の地域でもそれを追う様子をみせています。内訳は、月に数回、日本人講師による数十分程度の歌やお遊び程度と言ったものから、毎週複数回それもネイティブや非日本人講師によるかなり高度な内容を提供する園まで、頻度・内容・質共に様々でありまさに玉石混交と言った状況です。2020 年度からの小学校 3 年生での英語必修化を控え、英語教育を導入する園数は急速に伸びており、その必要性が顕在化していると言えますが、どのようなメソッドが効果的なのかは実証中と言ったところでしょうか？

ここで恐ろしい？のは現在 4、5 歳の園児もあと僅か数年後の小学校授業では通知表に『数値された成績』がつけられることとなります。私自身は中学 1 年の入学早々一学期の成績が 5 段階の『2』だったりして、その後の英語に対しての意味の無い恐怖心や拒絶反応、苦手意識を育てられてしまった苦い経験を思い起こしますが、幼稚園などへの視察訪問時に元気に英語で話しかけてくる無邪気な園児たちを見るにつけ、『この子たちには絶対に英語嫌いになって欲しくない。幼稚園/保育園では成績をつけなくて良いのだから、この子たちを英語好きにさせたまま卒園させてあげて欲しい。そこが最初で最も重要なステップなのかも知れない』と願わずにはられません。

次が『グローバル化』ですが、関東平野のエッジにある群馬県には日本最大のブラジル人居住者数を抱えると知られる太田市や大泉町を筆頭に、他国からの外国人居住者も数多く、人口比率は東京や大阪などの大都市に続きなんと全国 6 位となっています。私も昨年末に運転免許を取るために交通センターに通いましたが、東南アジア、南米、中東、そして中にはブータンやシエラ、レオネなど聞きなれない世界中のあらゆる地域から集まってきており、まさにワールドマーケットの様相を見せていました。

アメリカでの日系移民がそうであったように、初期の労働者はやがて地域に根を張り 2 世、3 世の世代が活躍し始めます。今の園児たちが実社会に出るだろう 10 年、20 年後には会社同僚や上司が外国人だったり、日常生活でもいわゆる日本の常識や習慣、考え方をアウンの呼吸で伝えられないシーンが当たり前になっていることでしょう。そうした時にこそ、相手の違いを認め、相手の考えを知ろうとする態度・姿勢を持てるかどうか？が非常に大切になって来ると思います。そうした意味では『グローバル化』とは何も日本人や日系企業が海外に進出する『ビジネス界』や『外部』の状況を指すのではなく、むしろ自分の生活の『普段』、日本の国土『内部』で

4 ページより続く

急速に進行している事実だと実感します。

結論として、『英語教育』と『日本のグローバル化』を上手にリンクさせる必要を感じます。勿論、英語が使えるということは世界中のかなり多くの人々とスムーズなコミュニケーションを取れるツールを身に着けるということですが、低年齢児での英語教育はあくまで異言語や異文化に対しての気付きや興味関心を育て、いわゆる異質なものに対しての寛容性、また逆に言えばある意味の抵抗力や抗体をつける扉、入り口であって欲しいと思います。更に言うならその現場で注力して頂きたいのは『修得度を点数化し測ること』ではなく、『英語と言う一言語に触れることで、そこから先にある世界中の何百と言う違った言語、あるいは違った人々や文化に関心を持つこと。そうした異物に触れる体験の中で自分がグローバル社会の一員であることに気付くこと』であって欲しいと思います。

昨今の新聞始めメディアでは、英語教育の低年齢化について様々な意見が見受けられます。教育現場にいる者として、その様々な意見が出るほどその意義が深く、こども一人ひとりと国全体の未来を築く可能性の高い尊い仕事だと思えてなりません。

キラキラ輝く園児たちの目の輝きを見るにつけ、絶対に我々大人が折れてはならない、この子供たちの将来を信じて、未知のチャレンジに挑み続けるべきだ、と確信いたします。

鎌塚さんは、日本に拠点を移されてからも、JERC 日米教育サポートセンター理事として活動していただいています。

国際教育コンサルタントとして、これからも日本の教育について、英語教育について発信していただけることを期待しております。ニュースレターにて掲載して参りますので、ご期待ください。



## ★★★ 教育相談室 ★★★

JERC では、随時教育相談を受付けています。オフィスでも、お電話でも E-mail でも結構です。疑問やお悩みのことがございましたら、お気軽にご相談ください。ベテランの教育アドバイザーが対応しております。

海外でのお子さんの教育は、保護者の方にとって一番の悩みになっておられるのではないのでしょうか。子どもの教育を現地校で受けさせようか日本人学校がよいのか、現地校のシステム、先生とのコミュニケーションのとり方等について、また、英語をどう学ばせたらよいのか、現地校に適応しなくて困っている等、教育に関する様々な問題が日々起こってきます。お子さんが有意義な海外生活、学校生活を送るには、できるだけ早く対処し解決することが重要なポイントとなります。米国内は基より、日本から、世界のどこからでもご相談を受け付けております。

**JERC : 午前 9 時から午後 5 時まで。(Pacific Time) Phone : (310) 373-4888**

ホームページからもご相談いただけます。 URL : [www.jerc.org](http://www.jerc.org) E-mail : [office@jerc.org](mailto:office@jerc.org)

★ ★ ★ 活動スケジュール ★ ★ ★

12月	17日(木)	午後1時	定例理事会
	26日～28日	午前11時	日米親善高校野球大会
1月	25日(月)	午前10時	特別講演会
	26日(木)	午後1時	定例理事会
2月	25日(木)	午後6時半	JERC 設立記念パーティー

図書の貸出しについて

JERC 日米教育サポートセンターでは、絵本、児童書そして大人向けの本を貸し出しています。  
どなたでも借りられますので、いつでもご利用ください。



23545 Crenshaw Blvd., Suite 102, Torrance, CA 90505 Phone: (310) 373-4888 E-mail: office@jerc.org

**KEMPO-TV** は、海外にお住まいの皆様へ情報をお届けしています。

毎週木曜日 KXLA-TV CH44 (COX COMMUNICATIONS は CH 31)

『教育シリーズ』 午前8時20分～8時30分

**KEMPO-TV** ウェブサイト : [www.kempo-tv.com](http://www.kempo-tv.com) もご覧ください。



Honorary Members

Consulate General of Japan in L.A.  
Japanese Chamber of Commerce of  
S. California  
CA States Assemblyman  
Mr. George Nakano  
Torrance Unified School District  
Palos Verdes Unified School District

Corporate Members

American Honda Motor Co, Inc.  
Aisin World Corp. of America  
ANA Trading Corporation U. S. A.  
FIA Insurance Services  
群馬こども英語教育研究会  
Kawai America Corporation  
Nishiyamato Academy of California

Pentel of America, Ltd

Sumitomo Electric U.S.A., Inc.  
Takuyo Corporation / Lighthouse  
Toyota Motor Sales, U. S. A., Inc.  
Toyo Tire Holdings of America's Inc.  
Underwood Trading Company  
Union Bank



会員募集中

JERC は個人会員と企業会員の会費で運営しております。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。会員は随時募集しております、ホームページから会員登録書を入手していただけます。

\* 企業会員の場合、社員の方を個人会員として登録できます。

\* この会費は、2016年12月31日までの分です。皆様のご支援をお願い申し上げます。

編集後記

**JERC Newsletter**

1251号 (2015年12月発行)

2015年も、慌ただしく過ぎようとしています。来年の皆さま方のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

Phone: (310) 373-4888 E-mail: office@jerc.org  
ホームページ : [www.jerc.org](http://www.jerc.org)

JERC 日米教育サポートセンター  
23545 Crenshaw Blvd., Ste.102, Torrance, CA 90505